

## 鳥取県産材利用推進指針(案)についての パブリックコメント実施結果

県民の皆さんや林業・木材関係者、行政機関とが連携して「鳥取県産材」の利用を進めていくための、県としての基本的な考え方や取り組みの方向性を明らかにした「鳥取県産材利用推進指針」の案を作成し、パブリックコメントを実施しました。

### 1 パブリックコメントの実施状況

#### (1) 募集期間

平成20年6月6日～平成20年6月30日

#### (2) 周知・応募方法

周知方法：報道機関への資料提供、パンフレット、ホームページ

募集方法：郵便、ファクシミリ、電子メール、県民室・県民局の意見募集箱への投函

#### (3) 応募件数

4件(4名)

### 2 主な意見の概要と対応状況

区 分	意見の概要	対応方針
P R	<p>海外をターゲットの範囲に入れる前に工務店及び建築会社に呼びかけたり県内産を使って何年か経過した家等を見学したりする方がほうがいいのではないか。</p> <p>家を建てるときにはその土地で育てた材を使うのがベストだと思うので、そのこともP Rに織り込んでどうか。</p>	<p>今までも、工務店や建築会社との意見交換会を行っていますが、引き続き実施していくとともに、見学会については、今後検討していきたいと思えます。</p> <p>また、県産材を利用した住宅施策については平成20年度の新規事業で実施し、積極的にP Rを行うこととしています。</p>
	<p>バリアフリー住宅を推進して欲しい。</p> <p>また、アトピーの予防のためにも自然素材である木材住宅は良い。</p> <p>若い世代に木材の良さが伝わっていないので、P Rの工夫をしてほしい。</p>	<p>木の良さのP Rについてはご意見のとおりであり、今後、P Rの工夫をしていきたいと考えています。</p>
公共施設	<p>学校や公共施設、農協などでなぜ鉄筋建物となっているのか。</p> <p>指針とか条例とかはどうでもいいので、その関係者が自ら県産材を使ったらどうか。</p> <p>敷地はあるが、施設は全て県産材の平屋建てとするべきである。</p> <p>無料で千戸ぐらゐの家を建</p>	<p>公共施設で県産材を利用するための実践プログラムを作成することとしており、今後は、これに基づいて公共施設での県産材の利用を推進していきます。</p>

	<p>てるような大胆な施策をしないのであれば、林業は早く衰退した方がよい。</p>	
<p>資源の再利用</p>	<p>県産材の利用方法はいろいろとあるが、主として環境に配慮した利用方法を第一に考えて欲しい。</p> <p>例えば、ゴミを捨てていると魚のトロ箱（発砲スチロール）が河川敷に飛んだりしているので県産材利用のトロ箱に移行すればよい。</p> <p>環境にも良いし、再利用もできる。</p>	<p>いただきましたご意見の取り組みを指針に盛り込みました。</p>